
小学生名探偵はぎ！

イルカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小学生名探偵はぎ！

【Nコード】

N74510

【作者名】

イルカ

【あらすじ】

小学生名探偵はぎが、次々に事件を解いていく連載小説！

小学生名探偵はぎ事件ファイル

「ふー読み終わった！」

私、萩原ゆうな言った。私、こう見えても小学生名探偵はぎなのです！事件を頼まれるとたちまち変身してしまうのです。

「おーい！」

声をかけてきたのは、同じクラスの山中さん。ちょっとナルシストかな？って思ってる人です。

でも、私の秘密（名探偵はぎになること）を知っているのは山中さんだけなのです！

「どうしたの？」

「いや、それがはぎ、学校で事件が起こるって知ってるか？」

はあ、山中さんここでもその話？やっぱナル君かも・・・

「知らなかった。けど、山中さんそれをどうしろって？」

「いや、だからそれを解決してほしいんだ！」

山中さん、大好きな本読んでたのに・・・

「嫌です。きっぱり言っときますが、あなたに事件探しなんか頼みません。それと、山中さん絶交しない？」

きっぱり言っしまいました！ですが、私これを後から後悔しました。

「あつそ、はぎがそういうなら絶交してやるよ！どうなっても知らないぞ！」

山中さん言っしまいました・・・私いつもこうなんです。どうしましょう？

キンコーンカンコーン

「あつチャイムが鳴った！」

私は、教室へ駆け込みましたが・・・みんながいないのです！
って、3時間目体育でした！忘れていました・・・

「その日の夜」

「嫌って言ったのに、学校きちゃった・・・」

そうです、私はぎは、来てしまったのです！学校に！

「こうなったら、もう後戻りできない。この謎のページ私がめくって差し上げましょう！」

「このとき、私は名探偵はぎに変身していました」

「うーん、どこの部屋で事件が？」

私が悩んでいたときです。

ガタツコトコトツ

不気味な音がしました。

「何！」

私は、音がした教室のドアを開けました。ドアを開けた教室は、私が好きな図書室でした。

「誰がいるの？」

私は、暗闇に向かって言いました。返事は・・・思ったとおりきません。

カタツカタツ

また音がしました。

「やっぱり、誰がいる・・・！」

私は、持ってきた懐中電灯をつけました。

「誰だ！」

男の声です。しかも聞き覚えのある声。

「あなたは・・・坂本さん？」

私は静かに言いました。

「うつ。お前は・・・はぎだな。」

「ええそうよ。坂本さんこんなところで何してるの？」

私は、悲しみに沈んだ声で言いました。

「何もしてない・・・」

「そんな分けなideしyou。あなたは、井原さんを殺した。ちがう？」

私は、井原さんのことが好きだったのです。

「自首してください。」

「し、しょうがない。」

坂本さんは携帯を、私に差し出しました。どうやら、電話してくれ
ということらしいです。

〽10分後坂本涼はつかまった〽

END

遊園地のピエロ！〜解決編〜（前書き）

面白くなっています！（たぶん？）

遊園地のピエロ！〜解決編〜

「誘拐！」

そう、ブルーピエロが起こした事は誘拐だったのです！私、萩原ゆうなも探偵として黙ってられません！友達に別れを告げ、名探偵はぎに変身しました。警部さんに

「すみません、捜査させてください！」

といったら、警部さんは、

「ダメだ。チビはどつかいてな！」

といわれてしまいました！私、145cmあるからチビじゃないのに！（怒）も〜いいです！

自分で捜査しますよ。あいにく、楽屋には、誰もいない！今なら、楽屋にいける！

〜楽屋〜

「う〜んと、ブルーピエロの持ち物はこれで全部か。ん？これは・・」

私は、ブルーピエロの持ち物の中に気になる物を見つけました。それは、薄い鏡と、プラスチックの筒です。

「こんな物を使うのかな？でも、一応調べよう！あれ、筒に紙が貼つてある！え〜と何々。あっこ、これは！」

私は、その紙を見た瞬間すべてのトリックが解ったような気がしました！

〜事件解決〜

「皆さん、お忙しい中集まってくれてありがとうございます。この、ブルーピエロ事件すべて解りました。まず、ブルーピエロは女の子を入れた箱の上にこの筒、プラスチックの筒を貼り付けたのです。でも、このままではばれてしまう、そう考えたブルーピエロは、この薄い鏡を筒の周りに貼り付けたのです。これで、透明というわけではないけど、周りの景色になじみました。そして、女の子はそこ

を通過して脱出したのです。そして、ブルーピエロ自身は、みんながおどおどしてる間に逃げたのです。

あと、ブルーピエロのときは、おそらく女の子の孤独を消したかったのでしょう。女の子は、父も母もないそんな孤独の身でした。ブルーピエロは、自分が少しでもその孤独を消せればと考えたのだと思います。あと、女の子は、もう託児所に帰っていますよ。ブルーピエロは、孤独を消して女の子を返したと思います。」

私が言い終わったとき警部の電話に電話がかかってきました。その電話は、託児所から女の子が無事に帰ったということでした！

（END）

遊園地のピエロ！〜解決編〜（後書き）

どうでしたか？おまけが始まります

リアルはぎにインタビュー

はぎのモデルは、作者の友達なのです。これからどんどんインタビューしていきます！

遊園地のピエロ〜事件編〜（前書き）

たまに、一りんしょうから、三りんしょうに変わりますがご了承ください！

解決へんは3話に続く予定です！

遊園地のピエロー〜事件編〜

「ふあ〜」

私、萩原ゆうなは目を覚ました。今日は土曜日遊園地に行く日です！この前の図書室事件以来図書室が使えなくなちゃって暇なのです！

「ゆうな〜早く起きて着替えなさい！」

お母さんです。

「はい！」

私は元気よく返事をしてリビングへ降りてきました。

「おはよう〜」

家の外へでると、今日一緒にいく友達がいました。

「ごめん、遅れちゃった？」

「ううん。そんなことないよ！ゆうな」

私達は遊園地に向かって歩き始めました。

「つ〜いたっ！」

私達は、遊園地に着くといいました。そして、自由行動をし始めました。遊園地に着いたら自由行動と約束していたのです。

私はまずピエロのショーを見に行きました。

「あっ面白そう！」

ピエロのショーは、いくつかのステージに分かれていました。私は、まずブルーピエロのショーを見に行きました。

「行くぞ！その女の子おいで」

ブルーピエロは、5歳ぐらいの女の子を指差しました。

「では、1 2 3 3 2 1！」

その瞬間ピエロと、女の子が消えてしまいました！

ここまですぐ事件の始まりだ！

遊園地のピエロ！～事件編～（後書き）

ありがとうございます！読んでくださって！解決編は、第3話になります！
お楽しみに

本当のじごく(前書き)

マジでグロクなってます！

本当のじく

「行つてきまゝす。」

私、萩原ゆうなは元氣に行つて家を出ました。学校に着いて私はもつと元氣な声を出しました。

「おつはよくてっあれ？」

いつもなら元氣な声が返ってくるのに・・・と考えながら私は教室のドアを開けました。

教室には、ひどい光景がひろがっていた。教室の床は、血まみれみんなの顔しかないし、体は外につられている。

「きゃー！」

私は、学校の外にランドセルを置いて飛び出した。どこに行けば解らない、夢だと信じたかったです。でも、夢ではありませんでした。近所を回つても教室と同じ光景なのです。私は、家に入るとお母さんに、

「あれ、ゆうな学校は？」

ときかれました。私は、

「今日、先生が休みだつて言つてた。」

と、うそをついてしまいました。部屋に駆け込むと頭を名探偵モードに変えると推理をはじめました。

怖い怖いと叫ぶ心を落ち着かせて推理を始めました。

キーワードは、

- ・学校みんなが殺されていた。
- ・近所の人々も殺されていた。
- ・生きているのは私の家族だけ。

つまり、私達への復讐！そんな！？

本当のじごく(後書き)

続きは、本当のじごく2に続きます！

このお話のストーリーは、友達が考えました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7451o/>

小学生名探偵はぎ！

2010年11月10日17時20分発行